

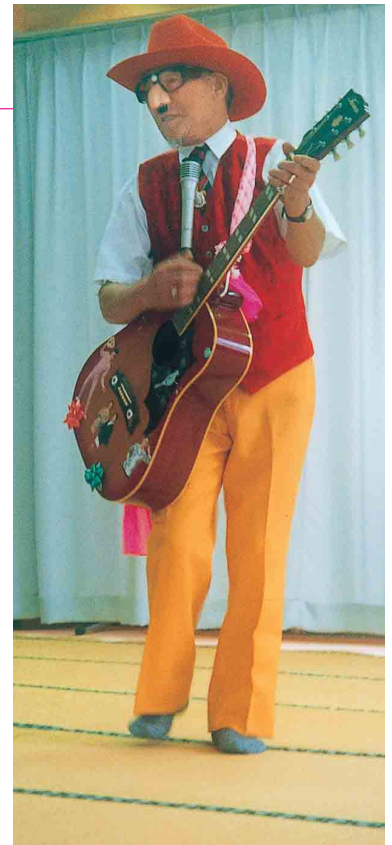


北緯40度

●そぞろある記

「うねとり荘」を慰問

7月4日、特定郵便局長会久慈部会・(部会長・久慈匡弘待浜郵便局長、久慈市や普代村などの特定郵便局長とその夫人17人が参加)が特別養護老人ホーム「うねとり荘」(野崎貞信施設長、50人)を訪問。歌と踊りでお年寄りを喜ばせました。



久慈部会長は「今の社会があるのは皆さんの苦勞があればこそです。楽しいひとときをすごしてください」とあいさつ。夫人手作りの雑巾100枚を送り、歌と踊りなどを披露しました。

会場にはデイサービスなどの利用者を含め約80人が集り、踊りに合わせて手拍子をしたり、歌を口ずさみながら楽しんでいました。

献血ありがとう

7月18日、保健センター前で行われた成分献血には、次の16人の協力がありました。ありがとうございます。
 下道勇次⁸³ 三船彰久⁸⁷ 道下勝弘⁹⁹ 坂下広見⁶⁵
 嘉藤光政¹⁷ 中居正³⁸ 菅野伸二¹¹ 高井俊一⁶ 大上一弘⁸⁶
 道上哲也⁶⁵ 三船雄三¹¹⁸ 宮田修幸²⁵ 上下哲也²
 畠山博⁹ 道下孝男⁹⁶ 有谷英人⁶
 = 敬称略 =

チョウウセンアカシジミ 村の天然記念物を観察

七月十五日、村教育委員会(新沼敏哉教育長)では、村の天然記念物であるチョウウセンアカシジミ観察会を行いました。産卵が行われる正午から午後一時の時間帯に合わせてチョウウセンアカシジミの会代表の尾形洋一さん(宮古市)を案内に、普代川沿で観察(村内外から親子など二十五人が参加)しました。既に産卵のピークを過ぎていたため産卵場面を見ることはできませんでしたが、チョウウが、トネリコの周りを飛んだり葉の

「夢はつかむもの」

七月二十一日、堀内小学校(箱石恵美子校長、児童六十人)では、IBC若手放送アナウンサー風見好栄さんを講師にお招きし、平成十三年度わんぱく坊主育成講座福祉教育講演会「写真」を開催しました。
 風見さんが、「夢はつかむもの」と題して自分の体験を交えながら、「困難と思われることも、夢に向かって頑張ることが、夢を実現することにつながる」と力強く、優しく語りかけると、子どもたちは目を輝かしながらうなづくなどして聞き入っていました。



陰で羽を休めたりする姿に参加者たちは見入っていました。参加者の一人で白井をふるさとに持つ、スイスからやって来た

た藤島エミ子ホフマンさん(三八)ご一家の長女で、七歳になるニナさんは「母のふるさとの夏はスイスより過ごしやすいです。今日は参加できて楽しかったです」と笑顔で話してくれました(写真)。

